

令和2年度 第2回 札幌市 地震被害想定検討委員会

資料 1: 前回の振り返り

令和3年1月7日

札幌市危機管理対策室

1.1 令和2年度第1回委員会における委員意見と対応(案)

1. 地震動・液状化予測

委員からの意見・助言等	対応(案)	
<p>1.1 地下水位の設定 【第1回資料6-1:P.29～30】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下水位が上昇傾向にあるのなら、ボーリング実施時の年代により補正をした方がよいのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ここ10年で上昇傾向にあるものの、場所による差異、ボーリング地点の精度などを考慮した分布モデルを構築するには、データ点数や知見が不足。 仮のモデルで試算した結果、PL値への影響は大きくないことを確認。 <p>⇒今回は年代補正を行わないこととし、今後、新たな知見が示されたときに再検討する。</p>	<p>資料 2-2</p>
<p>1.2 液状化の評価 【第1回資料6-1:P.31】</p> <ul style="list-style-type: none"> 液状化評価式における「従来式」と「H29改訂式」の差で大きく結果が変わらないことを精査した方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> 結果に若干の差が生じることを確認したが、PL値にして1～4程度なので、危険度判定における閾値を2ランク変わることはないことを確認。 <p>⇒現行基準である「H29改訂式」を採用する。</p>	<p>資料 2-2</p>

1.2 検討の全体スケジュール

●：開催、△：中止、○：開催予定（見込みを含む）

資料調査に基づく検証・検討等
 モデル作成・解析・数量算出・成果作成等

実施項目	令和元年度(2019年度)				令和2年度(2020年度)				令和3年度(2021年度)				令和4年度
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①
【地震動予測】 ・震源モデル(3タイプ5地震) ・地下構造モデル(浅部深部) ・強震動計算	手法の妥当性の検証			■									
	見直し				■	■	■						
【被害想定】 ・人的・物的被害 ・社会的被害 ・経済被害 ・新たな被害想定項目	手法の妥当性の検証			■	■								
	見直し				■	■	■						
【普及啓発】 ・地震防災マップ ・地域防災計画の修正案に対する助言	手法の検討								■	■			
	地震防災マップ										■	■	
	地域防災計画助言										■	■	
検討委員会			●●△			●	●	○	○	○	○	○	
			■		■	■	■	■					
(参考)				△									
札幌市防災会議※)													○
地震対策部会※)													○

※) 札幌市防災会議・地震対策部会 → 防災行政を円滑に運営するための組織として、災害対策基本法に基づく「札幌市防災会議」があり、「札幌市地域防災計画」や「札幌市水防計画」の策定及び推進を図っている。この会議の中には、地震防災計画の具体的対策の検討を行うため、「地震対策部会」が設けられている。

【令和2年度委員会の予定】

① 第1回 10/8

- ・令和元年度検証結果に対する意見聴取、総括
- ・地震動予測結果(案)の説明、意見聴取

② 第2回 1/7

- ・地震動予測結果(最終案)の説明
- ・被害想定結果(案)の説明、意見聴取

③ 第3回 3月頃

- ・被害想定結果(最終案)の説明
- ・R2年度総括